

2018年3月期 第2四半期決算説明会

2017年 11月 2日

喜びを創り喜びを提供する

 寿スピリッツ

<http://www.kotobukispirits.co.jp/>



証券コード 2222

目次

- 2018年3月期 第2四半期決算概要 P 1～18
- 2018年3月期 通期業績予想 P 19～23
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 24～46
- 株式の状況・株主還元 P 47～51
- 参考情報 P 52～67



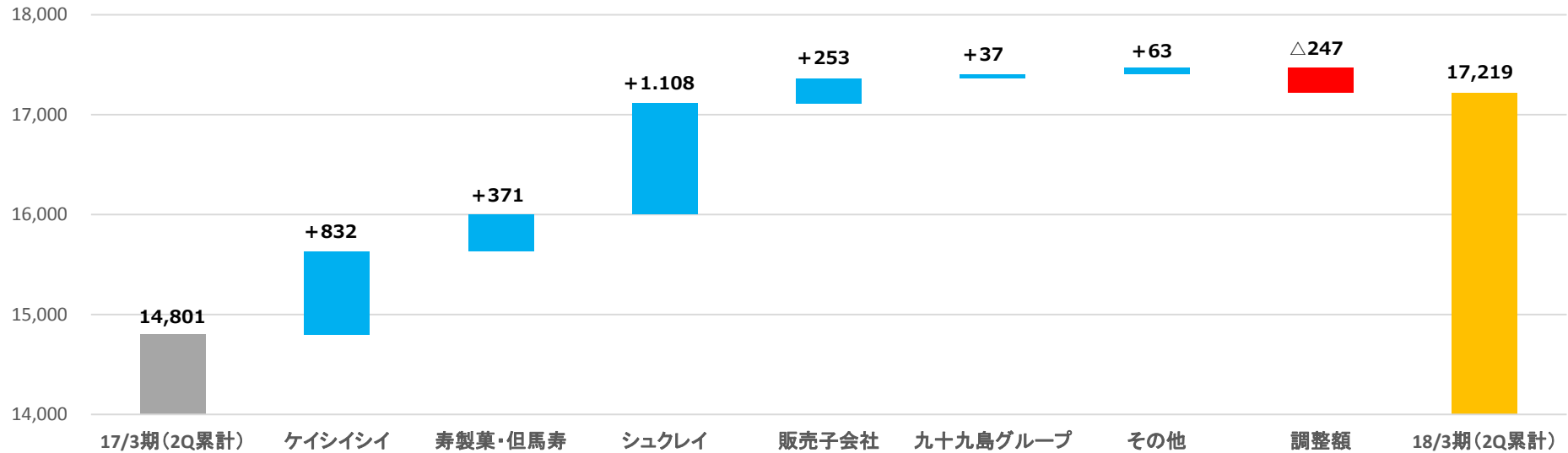
2018年3月期 第2四半期決算概要

2018年3月期 第2四半期(累計)の業績ハイライト

- 売上高が前年同期比**16.3%増**となり、**6期連続**で過去最高値を更新。経常利益は同**27.1%増**となり、**3期連続**で過去最高値を更新。
- シュクレイの営業利益が前年同期比**266百万円増加**、ブランド認知度向上による売上拡大と**グループ再編効果**により収益性が改善。
- 国際線ターミナルでの販売強化が奏功し、インバウンド売上が、前年同期比**88.4%増**の1,540百万円。
- 純利益は、繰延税金資産の追加計上などの特殊要因により前年同期比**68.1%増**の大幅増益。2期ぶりに過去最高値を更新。

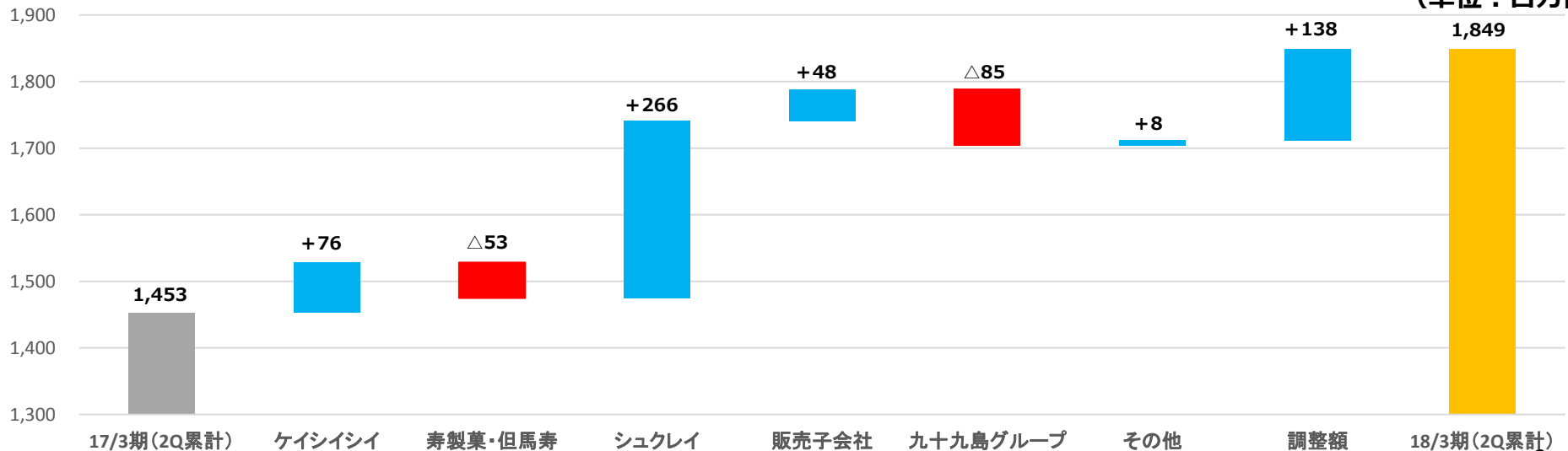
【売上高】2018年3月期 第2四半期(累計)業績の前年同期比増減分析

(単位：百万円)



【営業利益】2018年3月期 第2四半期(累計)業績の前年同期比増減分析

(単位：百万円)



重点施策の成果①

・インバウンド対策の強化

【インバウンド売上高】

(単位：百万円)

前第2四半期累計	当第2四半期累計	増減額	増減率
817	1,540	+723	+88.4%



LeTAO 関西国際空港 リロケーション催事

東京ミルクチーズ工場 成田空港

重点施策の成果②

・海外展開

【海外売上高】

(単位：百万円)

前第2四半期累計	当第2四半期累計	増減額	増減率
275	528	+253	+91.8%



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
タイ サイアムパラゴン店(9月OPEN)



LeTAO 香港 ハイサンプルイイス 催事





重点施策の成果③

・首都圏でのWSR化展開の推進

【シュクレイ売上高】

(単位：百万円)

前第2四半期累計	当第2四半期累計	増減額	増減率
3,921	5,029	+1,108	+28.3%

(注)前第2四半期累計の売上高は、(株)フランセが含まれている。



(参考)シュクレイ売上のグループ再編影響

(単位：百万円)

	前第2四半期累計	当第2四半期累計	増減	増減率
旧シュクレイ	2,431	3,773	1,342	55.2%
旧フランセ	1,490	1,257	△ 234	△15.7%
合計	3,921	5,029	1,108	28.3%

シュクレイ Butter Butler バターフィナンシェ
 JR東日本おみやげグランプリ **総合グランプリ**を獲得!!

ブランド売場画像



阪急うめだ本店催事(9月)



東京駅グランスタ店(8月)



ザ・メープルマニア



Butter Butler



東京駅 シーズンセレクト催事(8月)



NEWoMan SHINJUKU店(8月)

2018年3月期 第2四半期(累計)業績(対前年同期)

売上面・利益面ともに最高値を更新

(百万円、%)	前第2四半期 (16年4月～9月)		当第2四半期 (17年4月～9月)		対前年同期		(参考)前期 (16年4月～17年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	14,801	—	17,219	—	2,418	16.3	32,536	—
売上総利益	8,110	54.8	9,575	55.6	1,465	18.1	18,214	56.0
販売管理費	6,657	45.0	7,725	44.9	1,068	16.0	14,367	44.2
営業利益	1,453	9.8	1,849	10.7	397	27.3	3,847	11.8
経常利益	1,471	9.9	1,870	10.9	398	27.1	3,898	12.0
四半期(当期)純利益※	863	5.8	1,450	8.4	588	68.1	2,572	7.9
EPS(円)	27.72		46.61		18.89		82.66	

※ 四半期(当期)純利益＝親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

セグメント別の業績(対前年同期)

製造メーカーとして始動したシュクレイが業績を牽引

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第2Q累計	当第2Q累計	増減額	増減率	前第2Q累計	当第2Q累計	増減額
ケイシイシイ	4,264	5,096	832	19.5	423	499	76
寿製菓・但馬寿	4,949	5,319	371	7.5	635	582	△ 53
シュクレイ※	3,921	5,029	1,108	28.3	78	344	266
販売子会社	2,505	2,758	253	10.1	180	228	48
九十九島グループ	1,612	1,649	37	2.3	△ 20	△ 105	△ 85
その他	113	175	63	55.8	△ 38	△ 31	8
セグメント計	17,363	20,027	2,664	15.3	1,258	1,517	259
調整額	△ 2,561	△ 2,808	△ 247	9.7	194	332	138
合計	14,801	17,219	2,418	16.3	1,453	1,849	397

※従来、独立セグメントとしていた「フランセ」は、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、「シュクレイ」に統合。
前第2四半期との比較は、変更後の区分変更により作成した数値を使用しております。

第2四半期(累計)主要セグメントの状況

ケイシイシイ	<p>主力商品の「ドゥーブルフロマージュ」及び「小樽色内通り フロマージュ」の販売強化に加え、新商品「テノワール」の拡販に注力。売上面では、インバウンド対策として注力している国際線ターミナルでの販売が好調に推移。また、新規出店効果などにより道内店舗の売上が伸長。その結果、売上高は5,096百万円(前年同期比19.5%増)、営業利益は499百万円(前年同期比17.9%増)。</p>
寿製菓・但馬寿	<p>焼き菓子類を中心にグループ向け及び代理店向けが堅調に推移。生産面では、商品開発の強化に向け、新たな製造ラインを設置し、製品ラインナップの充実を図った。その結果、売上高は5,319百万円(前年同期比7.5%増)。利益面では、減価償却費の増加などにより製造原価率が増加したことに加え、人件費の増加などにより、営業利益は582百万円(前年同期比8.4%減)となり、前年同期を下回った。</p>
シュクレイ	<p>統合メリットを最大限発揮させるべく組織体制の見直しを行い、販売面では、「フランセ」ブランドの販売チャネルの絞り込みを実施。また、生産面では、製造ラインの新設及び改修を行い、商品の一部をグループ間仕入から自社工場生産に切り替えるなど生産体制の改善に注力。売上面では、主力ブランドの積極的なプロモーションにより認知度が向上し、好調に推移。その結果、売上高は5,029百万円(前年同期比28.3%増)、営業利益は344百万円(前年同期比341.9%増)。</p>
販売子会社	<p>駅、空港、SA・PAなど交通拠点チャネルを中心に、新製品及び主力商品のコーナー化展開を推進し、堅調に推移。その結果、売上高は2,758百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は228百万円(前年同期比26.6%増)。</p>
九十九島グループ	<p>売上面では、長崎・佐世保地区は、主力商品「九十九島せんぺい」の販売強化などにより熊本地震の影響による低迷から回復基調にあるものの、福岡地区が、福岡空港改装工事に伴う売場縮小などにより低迷。新業態のフレンチトースト専門店「Ivorish(アイボリッシュ)」は、認知度向上に向け首都圏を中心に催事展開を推進。その結果、売上高は1,649百万円(前年同期比2.3%増)、営業損失は105百万円(前年同期は営業損失20百万円)。</p>

売上高(販売チャネル別)

店舗販売 対前年同期比 17.3%増/卸売 同14.2%増

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	14,801	—	17,219	—	2,418	16.3	32,536	—
通信販売	876	5.9	901	5.2	25	2.9	2,358	7.2
(内ルタオ通販)	677	4.6	684	4.0	6	1.0	1,891	5.8
店舗販売	6,254	42.3	7,336	42.6	1,082	17.3	14,098	43.3
卸売	7,380	49.9	8,429	49.0	1,049	14.2	15,263	46.9
海外	275	1.9	528	3.1	253	91.8	778	2.4
その他	16	0.1	25	0.1	9	55.9	39	0.1

(注)店舗販売は、主に直営店舗、催事など

卸売は、主に小売店(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど

その他は健康食品事業、損害保険代理業など

売上原価・売上総利益

売上総利益率 対前年同期比0.8ポイント増加

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	14,801	—	17,219	—	2,418	16.3	32,536	—
材料費	3,695	25.0	4,264	24.8	569	15.4	8,021	24.7
労務費	1,717	11.6	1,930	11.2	213	12.4	3,616	11.1
製造経費	820	5.5	1,050	6.1	230	28.0	1,843	5.7
製造原価計	6,232	42.1	7,243	42.1	1,012	16.2	13,480	41.4
その他	460	3.1	401	2.3	△ 59	△ 12.8	842	2.6
売上原価合計	6,692	45.2	7,645	44.4	953	14.2	14,322	44.0
売上総利益	8,110	54.8	9,575	55.6	1,465	18.1	18,214	56.0

販売管理費・営業利益

売上高販管費率は前年同期と同水準

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	8,110	54.8	9,575	55.6	1,465	18.1	18,214	56.0
人件費	2,920	19.7	3,320	19.3	400	13.7	6,014	18.5
販売促進費	1,085	7.3	1,397	8.1	313	28.8	2,587	8.0
運賃	533	3.6	576	3.3	44	8.2	1,115	3.4
広告宣伝費	107	0.7	124	0.7	16	15.4	250	0.8
地代家賃	806	5.4	990	5.7	183	22.8	1,761	5.4
減価償却費	164	1.1	168	1.0	3	2.0	364	1.1
旅費交通費	229	1.5	271	1.6	42	18.6	500	1.5
その他	813	5.5	879	5.1	66	8.2	1,776	5.5
販売管理費	6,657	45.0	7,725	44.9	1,068	16.0	14,367	44.2
営業利益	1,453	9.8	1,849	10.7	397	27.3	3,847	11.8

- 人件費の増加は、主に販売部門を中心に人員増によるもの。また、前期業績達成に伴う社内イベント費用が約70百万円増加。
- 販売促進費の増加は、主にシュクレイ及びケイシイシイを中心にマネキン費用の増加、イベント販促強化など。

公表数字に対する達成率

経常利益 対期初予想達成率113.3%

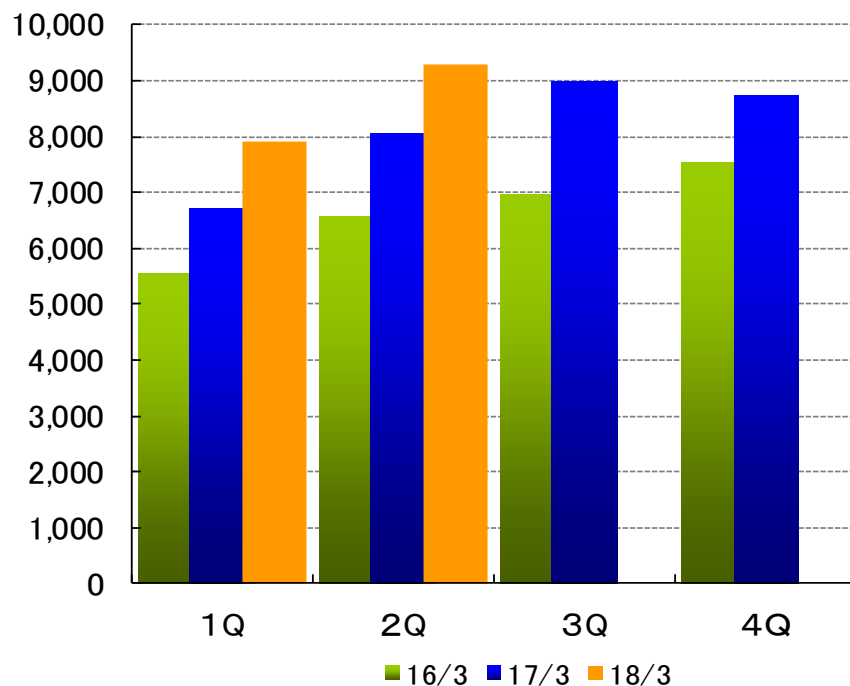
(百万円、%)	期初予想※		当第2四半期累計		対期初予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	16,480	—	17,219	—	739	104.5
売上総利益	9,100	55.2	9,575	55.6	475	105.2
販売管理費	7,470	45.3	7,725	44.9	255	103.4
営業利益	1,630	9.9	1,849	10.7	219	113.5
経常利益	1,650	10.0	1,870	10.9	220	113.3
四半期純利益	1,270	7.7	1,450	8.4	180	114.2

※ 期初予想は、2017年5月15日付公表数字

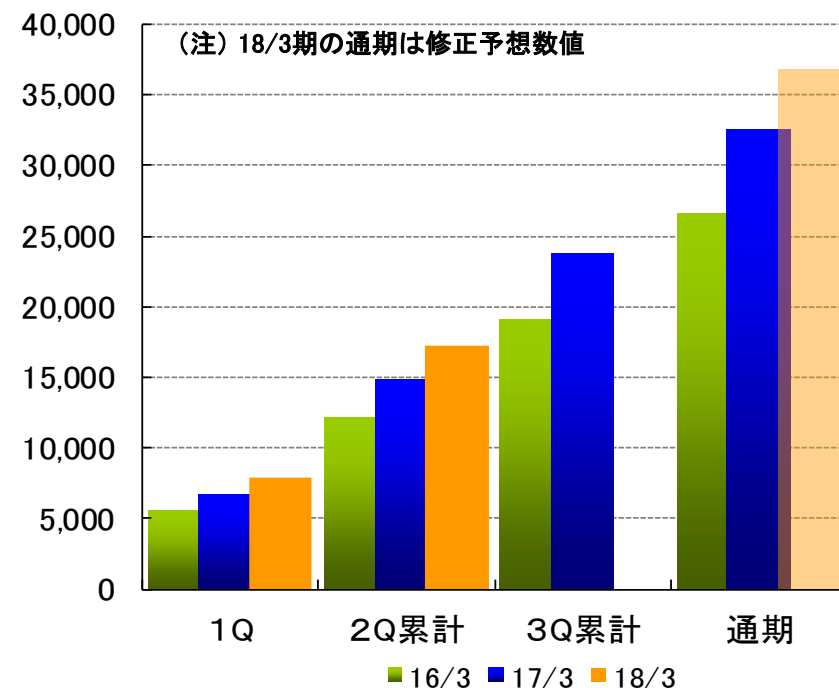
四半期業績の推移(売上高)

10四半期連続で増収

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



(百万円) 累計期間売上高の3期間比較

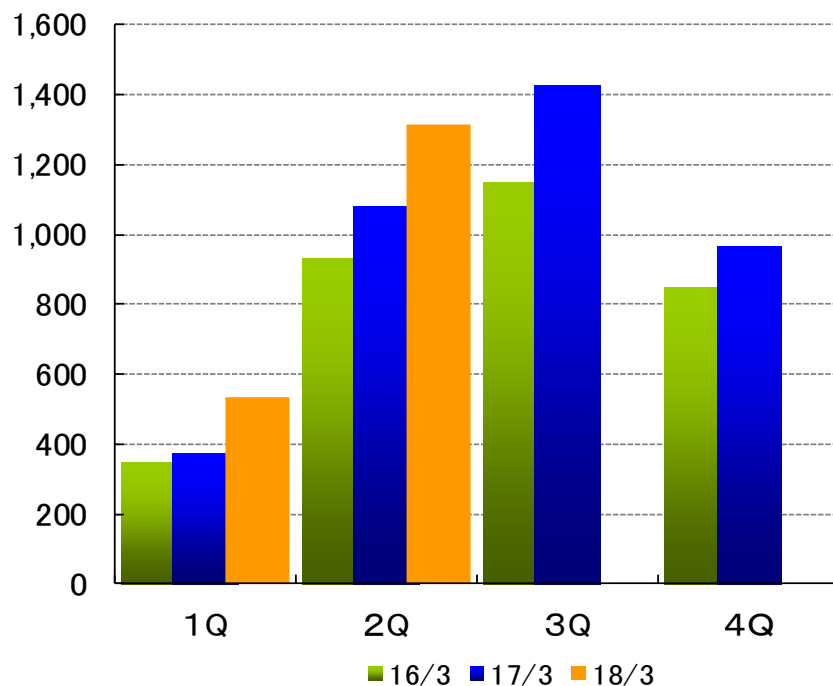


(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
16/3	5,542	6,569	6,968	7,534	5,542	12,111	19,078	26,612
17/3	6,724	8,077	8,984	8,751	6,724	14,801	23,785	32,536
18/3	7,920	9,299	-	-	7,920	17,219	-	36,740
増減率	17.8%	15.1%	-	-	17.8%	16.3%	-	12.9%

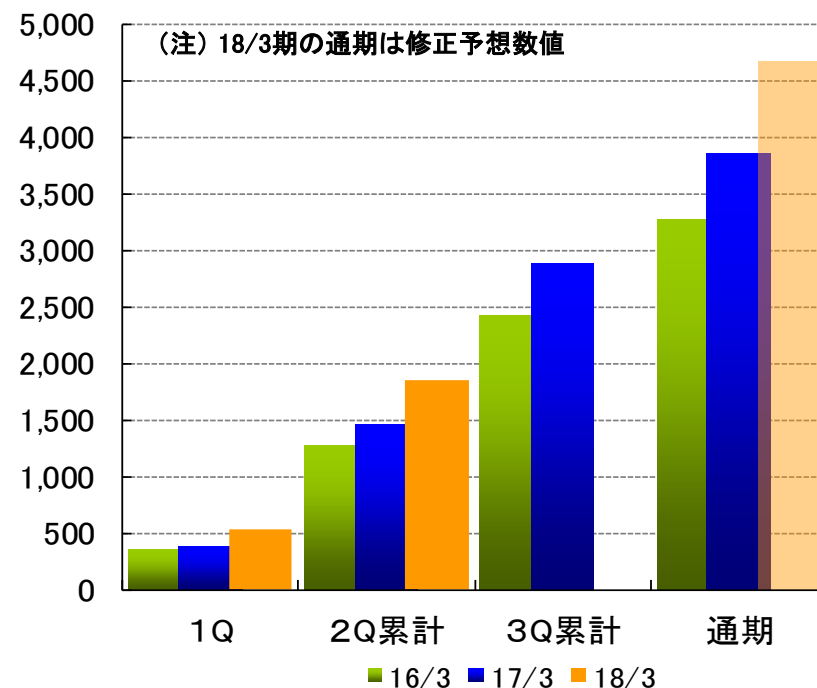
四半期業績の推移(営業利益)

10四半期連続で増益

(百万円) 会計期間営業利益の3期間比較



(百万円) 累計期間営業利益の3期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
16/3	350	931	1,148	848	350	1,280	2,429	3,277
17/3	373	1,080	1,430	965	373	1,453	2,882	3,847
18/3	535	1,314	-	-	535	1,849	-	4,670
増減率	43.6%	21.7%	-	-	43.6%	27.3%	-	21.4%

貸借対照表

2Q累計設備投資額 985百万円(工場改修、製造ライン新設など)

(百万円、%)	16年3月期		17年3月期		18年3月期2Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	8,517	47.5	9,455	48.5	9,254	47.1	△ 201	△ 2.1
固定資産	9,420	52.5	10,045	51.5	10,395	52.9	350	3.5
資産合計	17,937	100.0	19,500	100.0	19,649	100.0	149	0.8
流動負債	4,819	26.9	4,727	24.2	4,292	21.8	△ 435	△ 9.2
固定負債	2,346	13.1	2,039	10.5	1,947	9.9	△ 92	△ 4.5
負債合計	7,165	39.9	6,766	34.7	6,239	31.8	△ 527	△ 7.8
純資産	10,772	60.1	12,734	65.3	13,411	68.2	676	5.3
負債純資産合計	17,937	100.0	19,500	100.0	19,649	100.0	149	0.8
BPS(円)※	346.14		409.20		430.93		21.73	5.3
設備投資額	797		1,472		985			
減価償却費	736		879		477			

※ 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。
2016年3月期のBPS数値につきましては2016年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

キャッシュ・フロー計算書

有利子負債対前年同期比920百万円減少

(百万円、%)	16年3月期	17年3月期		18年3月期	対前年同期	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計	増減額	増減率
営業活動CF	3,244	1,177	3,071	960	△ 217	△ 18.4
投資活動CF	△ 2,343	△ 325	△ 967	△ 604	△ 279	86.0
フリーCF	901	852	2,104	357	△ 496	△ 58.1
財務活動CF	△ 284	△ 1,033	△ 1,809	△ 940	93	△ 9.0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6	△ 4	△ 3	0	5	△ 106.4
cash増減	617	△ 181	294	△ 583	△ 403	223.2
cash期首	2,555	3,254	3,254	3,551	297	9.1
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	88	—	—	—	—	—
cash期末	3,254	3,069	3,551	2,968	△ 101	△ 3.3
有利子負債	2,178	1,778	1,011	858	△ 920	△ 51.7
現金・預金	3,454	3,069	3,551	2,968	△ 101	△ 3.3
ネット有利子負債※	△ 1,276	△ 1,291	△ 2,540	△ 2,110	△ 819	63.4

※ ネット有利子負債(有利子負債－現金・預金)



2018年3月期 通期業績予想

2018年3月期 通期業績予想のポイント

● 予想スタンス

依然として先行き不透明な事業環境が見込まれるため、下期は、期初に掲げた業績予想を据え置き、上期実績を加味し通期業績予想を上方修正。

● 売上高

売上高の予想増収率は、12.9%。重点施策を中心に、季節イベント商戦での展開強化を推進。

● 子会社間合併の影響

子会社間合併に伴い「フランセ」は、セグメントを「シュクレイ」に統合。「シュクレイ」は、寿スピリッツ(株)に支払う経営指導料の料率変更によるコスト増が発生(年間約100百万円増加、連結上は相殺される)。上期に横浜工場に新ラインを設置し、自社工場生産へ順次切り替えを実施。

● 税金費用

税金費用は、子会社間合併に起因し、税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の追加計上(約150百万円)により税金費用が一時的に低くなる。

● 設備投資・減価償却

設備投資計画は、期初予想の1,200百万円から1,700百万円に修正。減価償却費予想は1,050百万円。

2018年3月期 通期業績予想(対前期)

売上高 予想増収率12.9%/経常利益 予想増益率20.6%

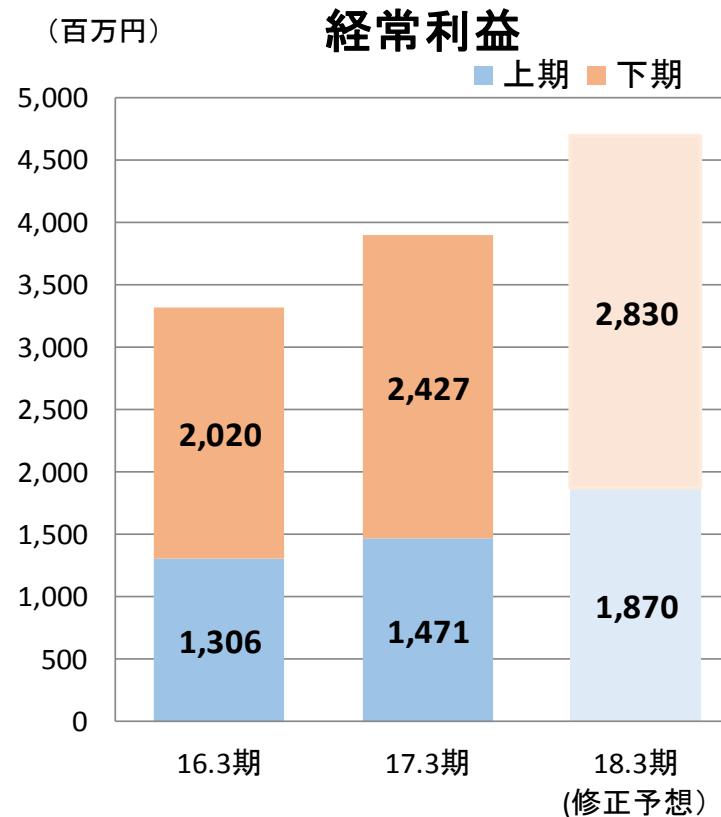
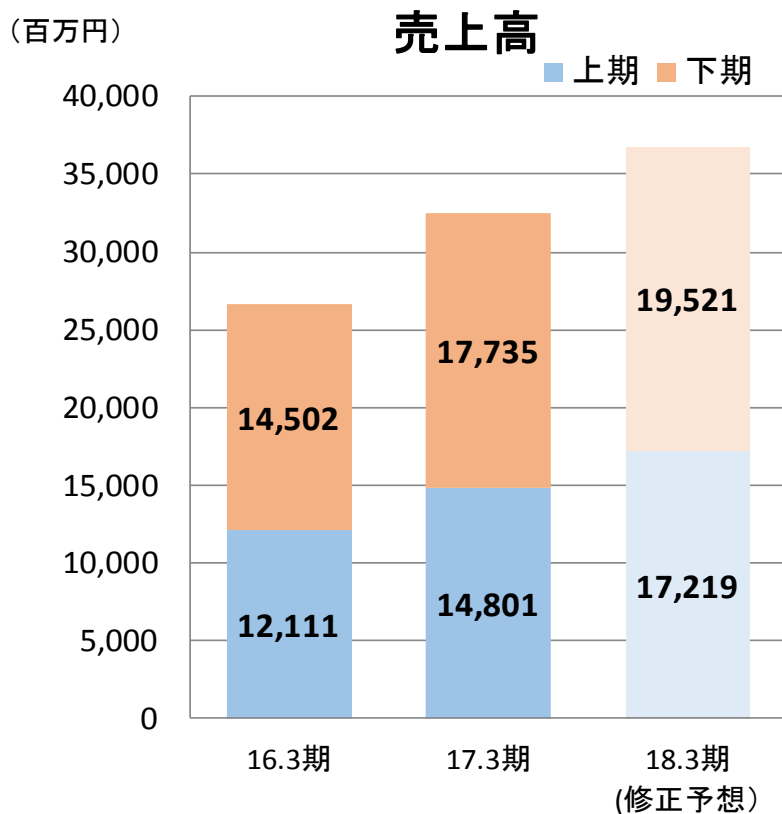
(百万円、%)	17年3月期		18年3月期(修正予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	32,536	-	36,740	-	4,204	12.9
売上総利益	18,214	56.0	20,773	56.5	2,559	14.1
販売管理費	14,367	44.2	16,103	43.8	1,736	12.1
営業利益	3,847	11.8	4,670	12.7	823	21.4
経常利益	3,898	12.0	4,700	12.8	802	20.6
純利益	2,572	7.9	3,300	9.0	728	28.3
EPS(円)	82.66		106.04		23.38	28.3
1株当たり配当金(円)	25.00		30.00		5.00	20.0
設備投資	1,472		1,700		228	15.5
減価償却費	879		1,050		171	19.4

2018年3月期 通期業績予想(セグメント別)

シュクレイ 予想営業利益率9.1%(対前期比2.5ポイント増加)

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	17/3月期	18/3月期 (修正予想)	増減額	増減率	17/3月期	18/3月期 (修正予想)	増減額
ケイシイシイ	10,376	11,366	990	9.5	1,446	1,589	143
寿製菓・但馬寿	9,635	10,159	524	5.4	1,065	1,026	△ 39
シュクレイ	9,275	11,319	2,044	22.0	611	1,034	423
販売子会社	5,120	5,458	338	6.6	377	447	70
九十九島グループ	3,287	3,449	162	4.9	△ 131	△ 155	△ 24
その他	278	395	117	42.1	△ 75	△ 36	39
セグメント計	37,971	42,146	4,175	11.0	3,293	3,905	612
調整額	△ 5,435	△ 5,406	29	△ 0.5	554	765	211
合計	32,536	36,740	4,204	12.9	3,847	4,670	823

2018年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)



(単位:百万円)

	売上高						経常利益					
	16.3期	構成比	17.3期	構成比	18.3期 (修正予想)	構成比	16.3期	構成比	17.3期	構成比	18.3期 (修正予想)	構成比
上期	12,111	45.5%	14,801	45.5%	17,219	46.9%	1,306	39.3%	1,471	37.7%	1,870	39.8%
下期	14,502	54.5%	17,735	54.5%	19,521	53.1%	2,020	60.7%	2,427	62.3%	2,830	60.2%
通期	26,612	100.0%	32,536	100.0%	36,740	100.0%	3,326	100.0%	3,898	100.0%	4,700	100.0%



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2017年経営スローガン

WSR!WSR!!
WSR!WSR!!
WSR!WSR!!

WSR ワールド サプライジング リゾート宣言
ワールド(W) **世界へ**
サプライジング(S) **ありえないほどの驚きの**
リゾート(R) **非日常(超感動)**を提供する

実践項目

超現場主義 (プロフィット部門中心の経営)
商品力、販売力・営業力、売場力のレベルアップ

目標指標

売上高経常利益率 20%

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力

重点施策

①インバウンド対策の強化

- ・寿スピリッツ流営業の推進により、国際線ターミナルでの催事・常設売場拡大に注力
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応



LeTAO 関西国際空港 外国語接客・販売

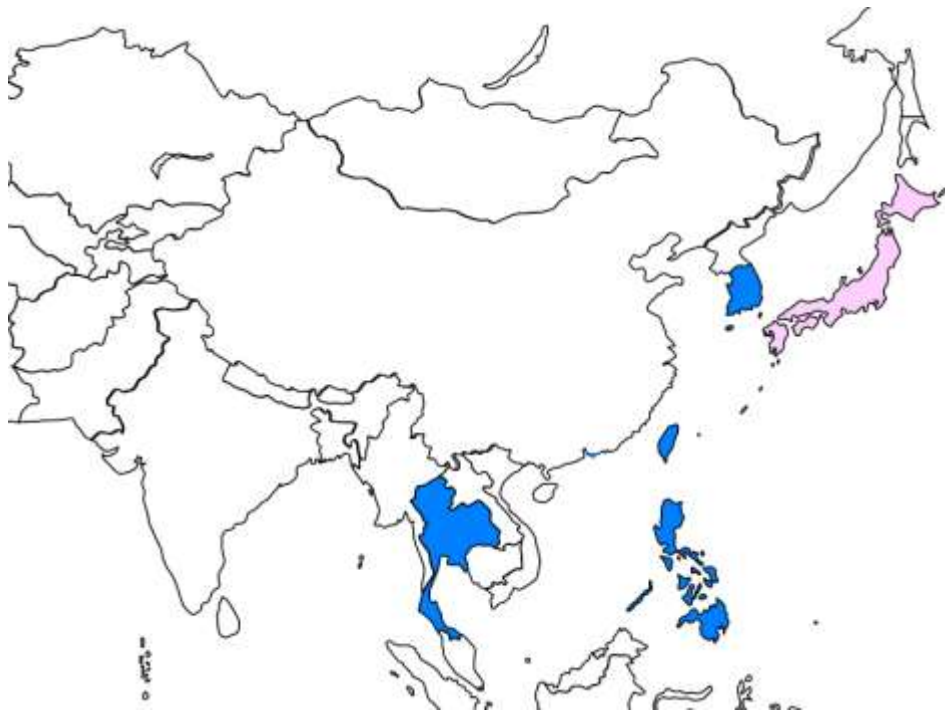


東京ミルクチーズ工場 成田空港
多言語表示ディスプレイ

重点施策

②海外展開（海外における事業モデルの構築）

・グローバルブランドとしてアジアでの店舗出店を加速させる



主要ブランドの出店地域

- ・ 台湾（子会社）2店
- ・ 香港（合弁）1店
- ・ 韓国（FC）6店
- ・ タイ（FC）3店
- ・ シンガポール（FC）1店



東京ミルクチーズ工場

- ・ 香港（合弁）2店
- ・ 韓国（FC）7店
- ・ タイ（FC）1店
- ・ フィリピン（FC）9店
- ・ シンガポール（FC）1店

重点施策

③首都圏でのWSR化展開の推進

- ・シュクレイ 多ブランド展開の更なる推進 関東主要SA・PAなど販路拡大
- ・グループ各社による期間限定店舗展開の推進



グループ再編により首都圏での経営基盤を強化 (連結子会社間での吸収合併)

2017年4月1日付けで、株式会社シュクレイと株式会社フランセとの吸収合併を実施

合併メリット

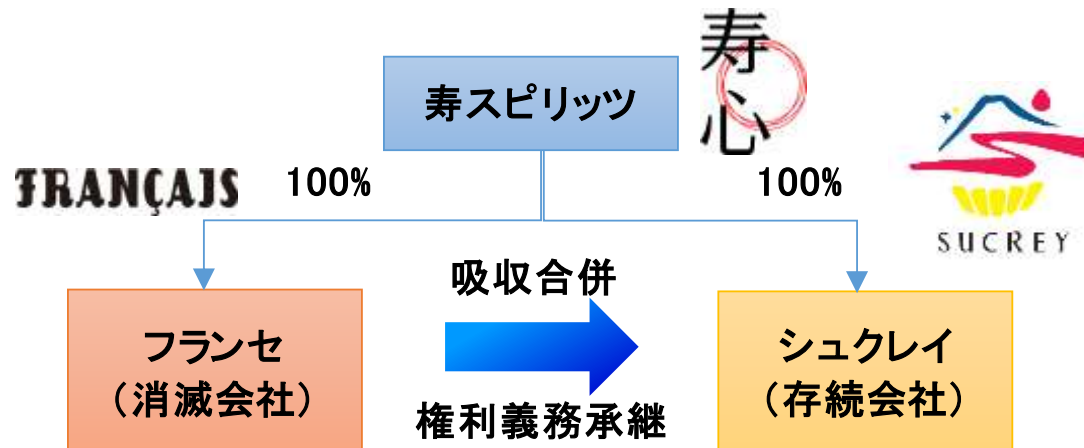
①首都圏展開における競争力の強化

⇒生産直販会社への移行により、会社の信用力、ブランド価値の向上

②経営資源の集約による経営効率の向上

⇒シュクレイのブランディングノウハウの活用

③グループ製造キャパシティの増加による増産体制の構築



重点施策

④プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成

・美味しさの追求と、少チャネル・多用途のプレミアム・ギフトスイーツの開発推進



重点施策の数値目標

(単位：百万円)

	実績 16年3月期	実績 17年3月期	目標数値 18年3月期
インバウンド売上	810	1,960	3,000
海外売上	550	778	1,200
シュクレイ売上	4,735	9,275	11,319

インバウンド売上…国内主要国際空港での売上

海外売上…台湾（現地法人売上）、韓国・香港及びその他の国は国内出荷売上（ロイヤルティ含む）

シュクレイ売上…シュクレイとフランセの合併に伴い、首都圏売上の開示をシュクレイの売上開示に変更

シュクレイの売上はインバウンド及び海外売上も含まれている

16年3月期、17年3月期の実績数値についてはフランセの売上が含まれている

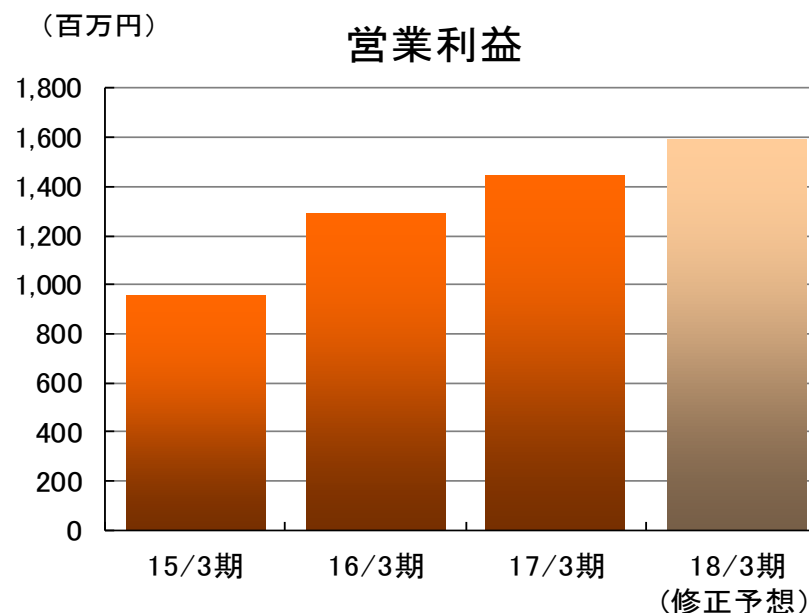
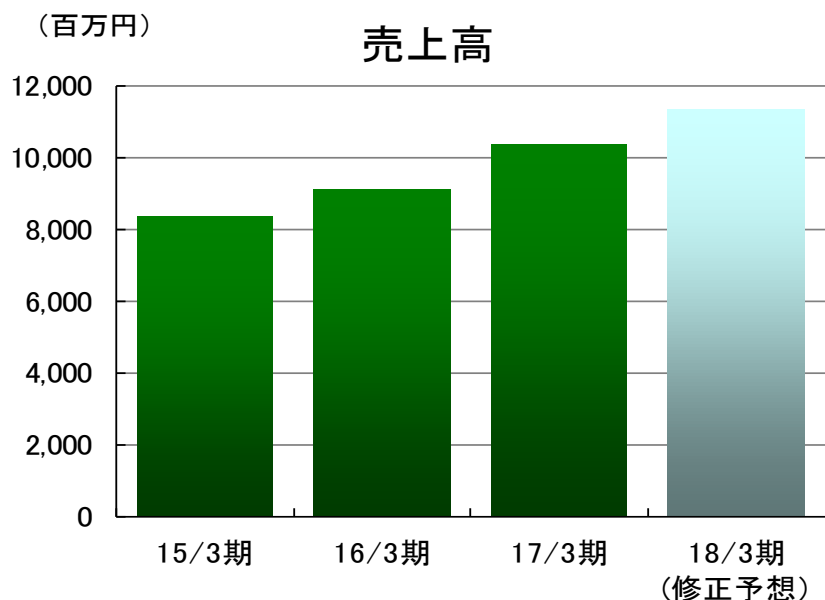
セグメント別概況



- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- シュクレイ
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- その他

《ケイシイシイ》

当期予想:売上高 **11,366**百万円(前期比**+9.5%**)営業利益 **1,589**百万円(同**+9.9%**)



ケイシイシイ

(百万円,%)	15/3期	16/3期	17/3期	対前期		18/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,331	9,095	10,376	1,281	14.1	11,366	990	9.5
売上総利益	4,947	5,535	6,280	745	13.5	6,926	646	10.3
粗利率	59.4	60.9	60.5	△ 0.3		60.9	0.4	
販売管理費	3,991	4,245	4,834	589	13.9	5,337	503	10.4
営業利益	957	1,290	1,446	156	12.1	1,589	143	9.9



《ケイシイシイ》

LeTAO × イベント × WSRを推進

・特別なイベントへ向けた商品開発・販売展開を強化



Halloween



Easter



Valentine's Day



Christmas



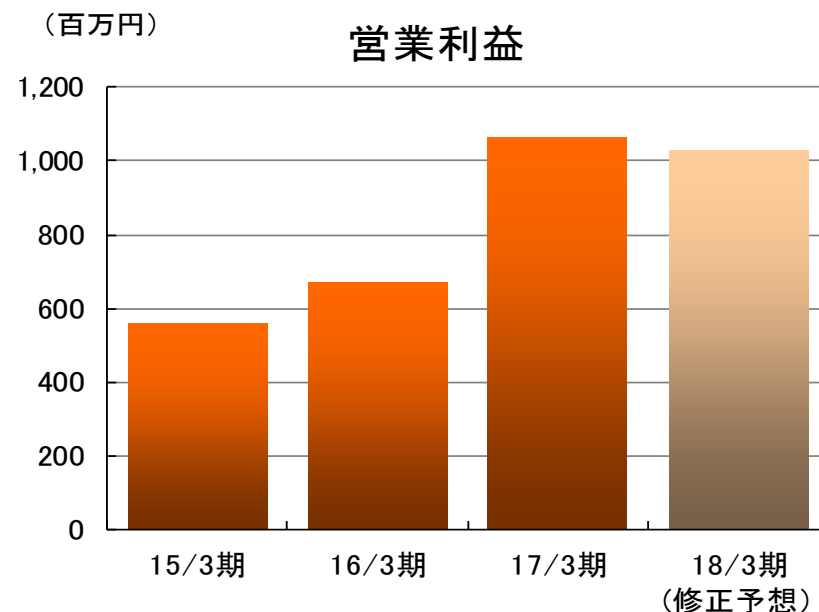
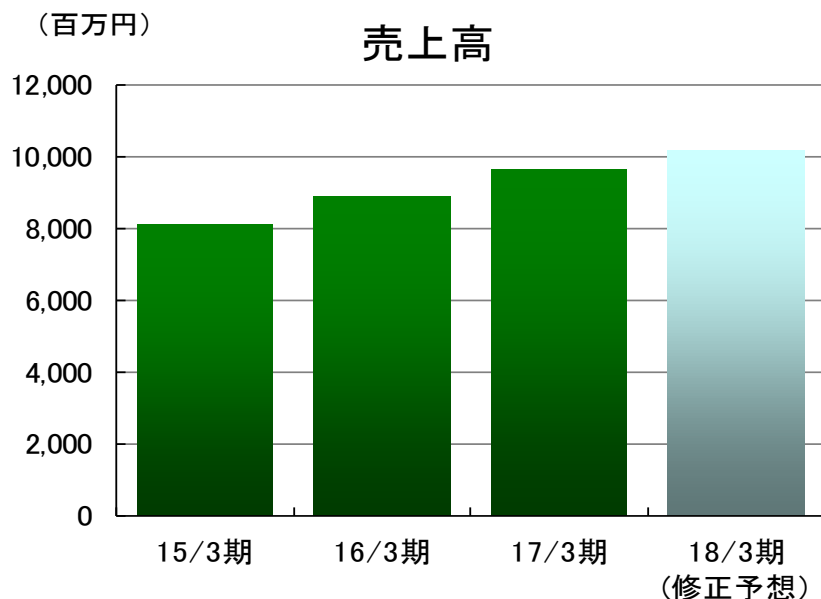
父の日



母の日

《寿製菓・但馬寿》

当期予想:売上高 **10,159**百万円(前期比**+5.4%**)営業利益 **1,026**百万円(同**△3.7%**)



寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	15/3期	16/3期	17/3期	対前期		18/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,140	8,867	9,635	768	8.7	10,159	524	5.4
売上総利益	2,976	3,328	3,748	420	12.6	3,885	137	3.7
粗利率	36.6	37.5	38.9	1.4		38.2	△ 0.7	
販売管理費	2,417	2,657	2,682	26	1.0	2,859	177	6.6
営業利益	560	671	1,065	394	58.7	1,026	△ 39	△ 3.7



《寿製菓・但馬寿》

重点対策：新商品開発・主力商品強化・販路開拓

- ・発売50周年を迎えた「因幡の白うさぎ」の更なるシェア拡大
- ・グループ会社・代理店との連携を強化
- ・新ライン増設による生産力のバージョンアップ



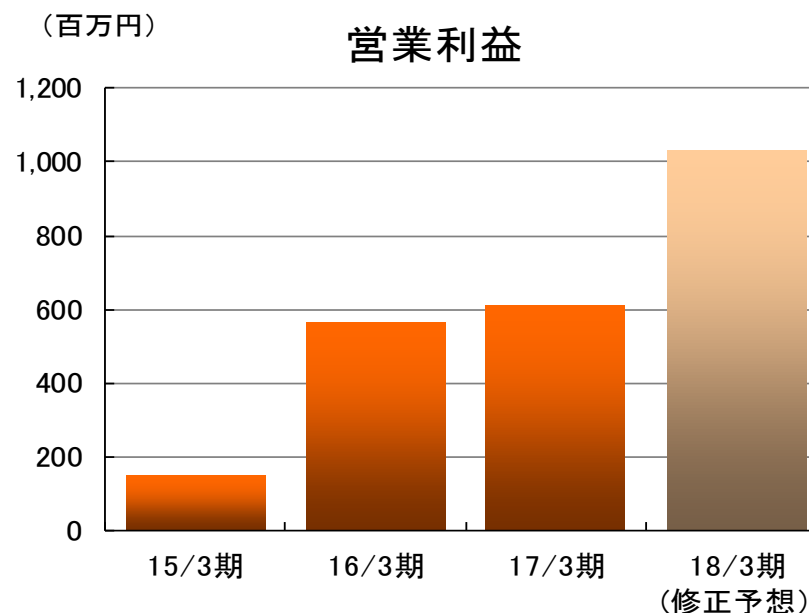
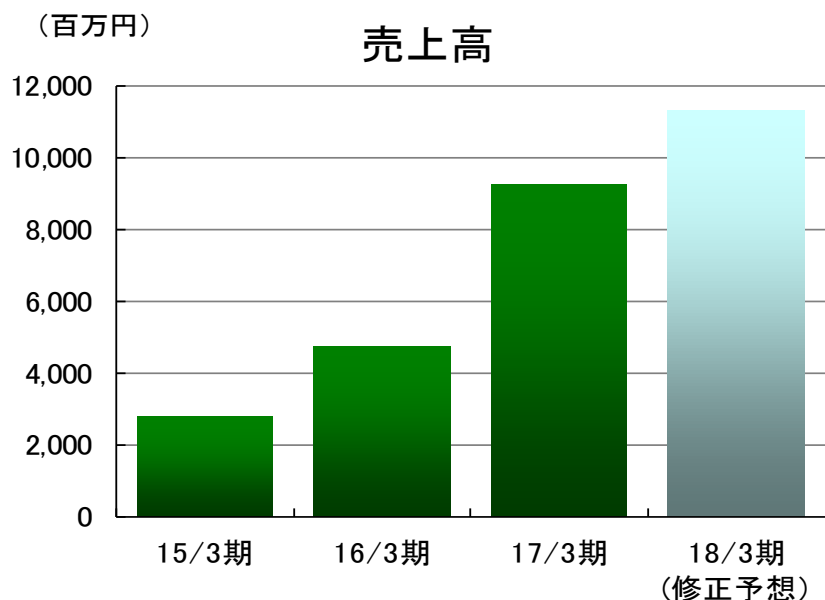
因幡の白うさぎ イオン鳥取北店



蒜山JERSY HILLS ラズベリークリームサンドクッキー - 39 -

《シュクレイ》

当期予想:売上高 **11,319**百万円(前期比**+22.0%**)営業利益 **1,034**百万円(同**+69.1%**)



シュクレイ

(百万円,%)	15/3期	16/3期	17/3期	対前期		18/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	2,795	4,735	9,275	4,540	95.9	11,319	2,044	22.0
売上総利益	1,537	2,667	4,990	2,323	87.1	6,469	1,479	29.6
粗利率	55.0	56.3	53.8	△ 2.5		57.2	3.4	
販売管理費	1,388	2,102	4,379	2,277	108.3	5,435	1,056	24.1
営業利益	149	565	611	46	8.2	1,034	423	69.1

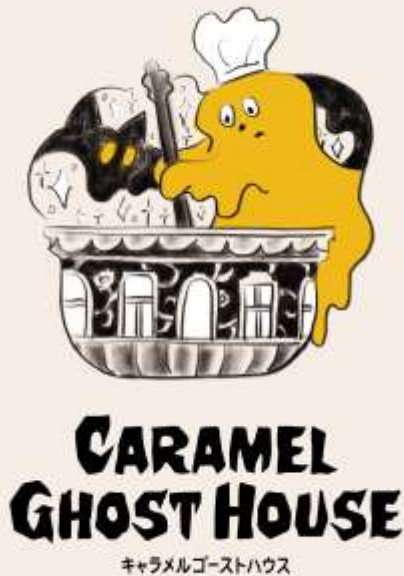
※従来、独立セグメントとしていたフランセは、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、シュクレイに統合。
16/3期及び17/3期実績は、当該報告セグメント区分に基づき組替えた数値を使用しております。



《シュクレイ》

唯一無二のブランド価値創造を目指す

- ・商品力、販売力・営業力、売場力を徹底強化
- ・新規出店、リロケーション、催事強化等によりブランド認知度の向上を図る

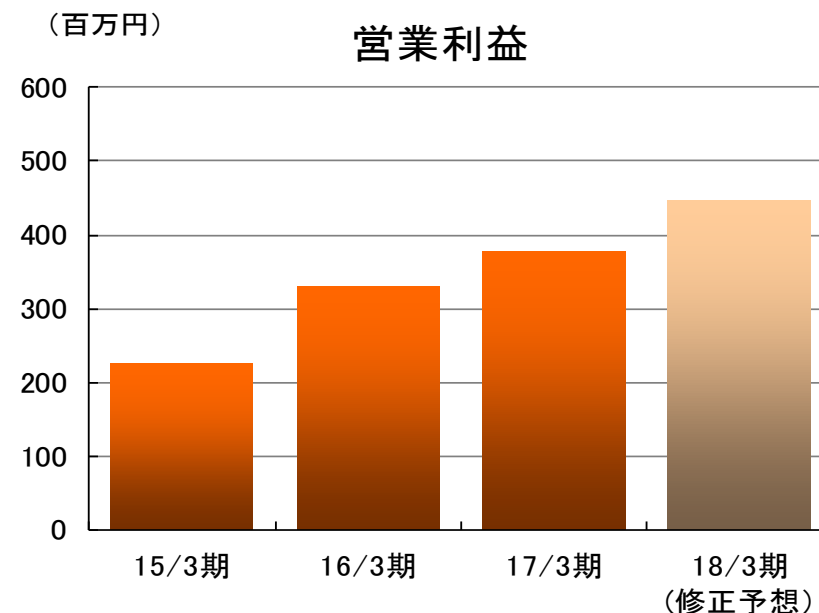
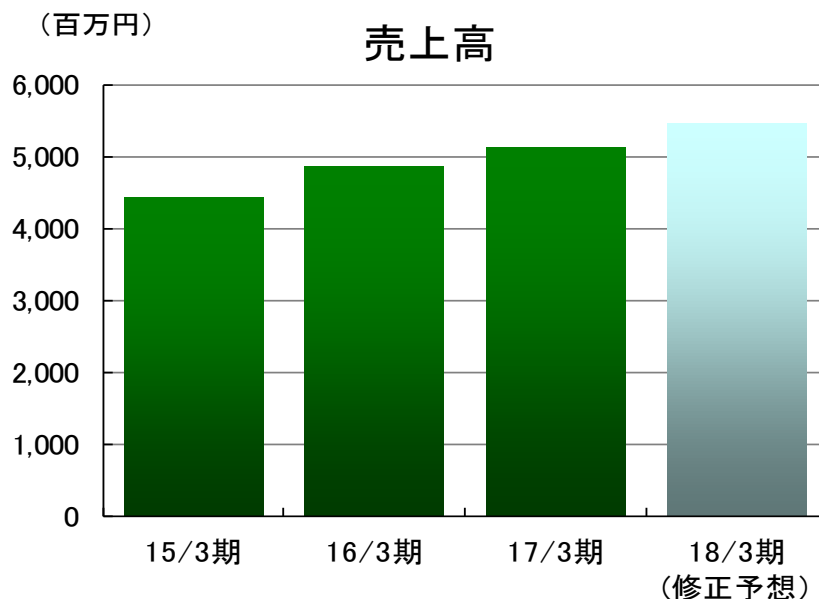


新ブランド キャラメルゴーストハウス

羽田空港 第1旅客ターミナル催事(10月1日～)

《販売子会社》

当期予想:売上高 **5,458**百万円(前期比**+6.6%**)営業利益 **447**百万円(同**+18.7%**)



販売子会社

(百万円,%)	15/3期	16/3期	17/3期	対前期		18/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,434	4,868	5,120	252	5.2	5,458	338	6.6
売上総利益	1,355	1,550	1,706	156	10.1	1,858	152	8.9
粗利率	30.6	31.8	33.3	1.5		34.0	0.7	
販売管理費	1,130	1,221	1,329	109	8.9	1,411	82	6.1
営業利益	225	330	377	47	14.3	447	70	18.7

《販売子会社》

交通拠点チャンネル(駅・空港・SA)での展開強化

- ・美味しさと品質に徹底的にこだわった主力商品の更なる売上増大を目指す



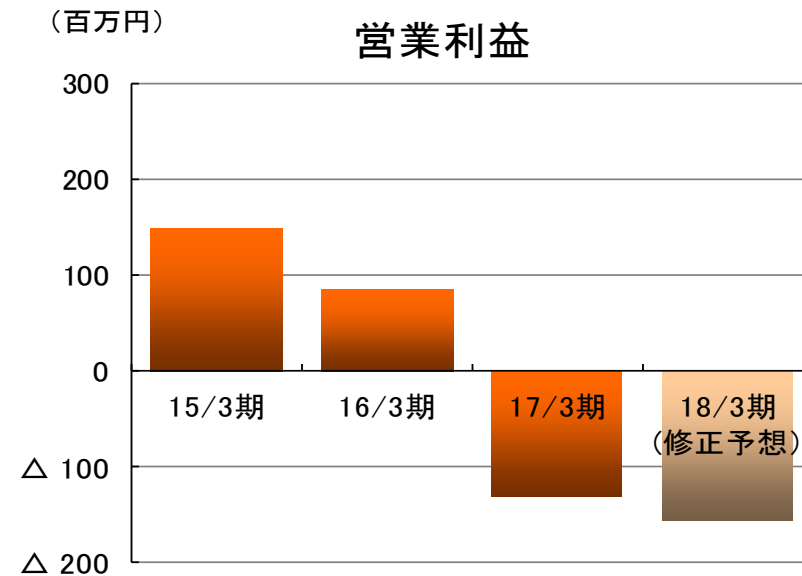
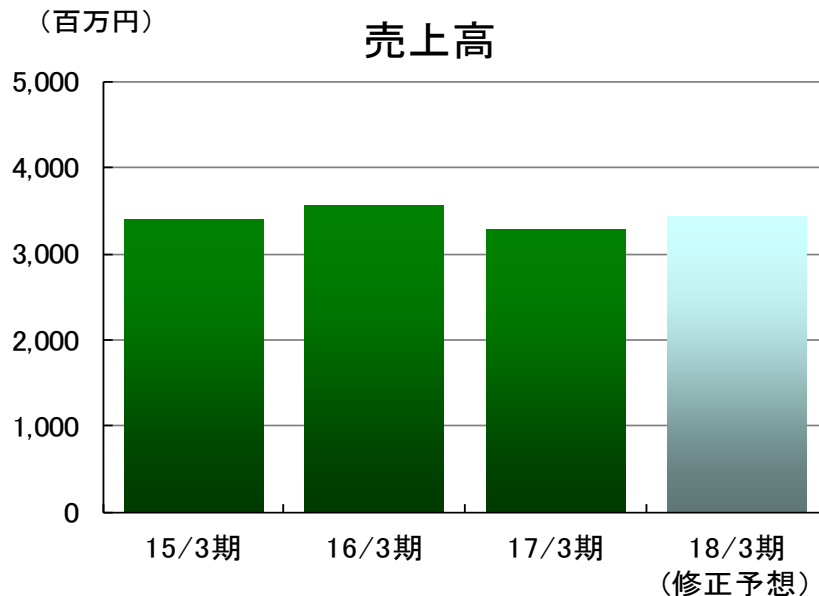
東海寿 名古屋小倉トーストラングドシャ



KYOTO VENETO エスプレッ茶

《九十九島グループ》

当期予想:売上高 **3,449**百万円(前期比**+4.9%**)営業損失 **155**百万円(前期は営業損失**131**百万円)



九十九島グループ

(百万円,%)	15/3期	16/3期	17/3期	対前期		18/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,409	3,554	3,287	△ 267	△ 7.5	3,449	162	4.9
売上総利益	1,432	1,525	1,389	△ 136	△ 8.9	1,472	83	6.0
粗利率	42.0	42.9	42.2	△ 0.7		42.7	0.4	
販売管理費	1,283	1,440	1,519	80	5.5	1,627	108	7.1
営業利益	149	85	△ 131	△ 216	-	△ 155	△ 24	-

《九十九島グループ》



主力商品強化、新商品開発、「Ivorish」ブランド強化などにより
早期のV字回復を目指す



純藍

《その他》

**純藍 事業軌道化に向け、藍の認知度拡大と
Web広告通販事業に注力**

純藍茶

**寿製菓株式会社 国立大学法人島根大学との共同研究**

平成28年4月28日に藍のポリフェノール(フラボノイド)の物質特許、製法特許およびコレステロール合成に関わる3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリル(HMG)-CoA還元酵素阻害剤としての用途特許を取得



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2017年9月30日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

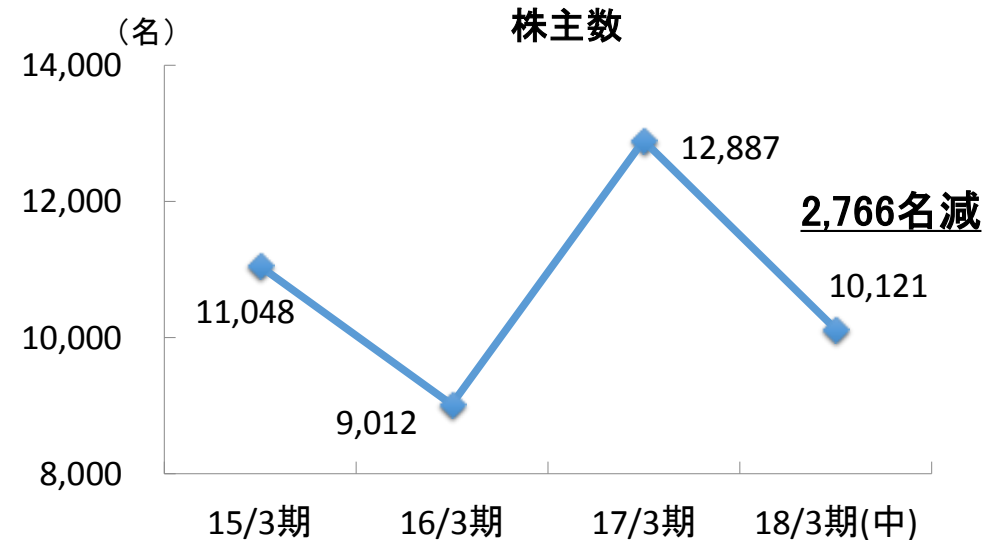
■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 10,121名

(対前期末比 **2,766名減**)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,129,700	3.63
寿スピリッツ従業員持株会	913,946	2.94
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	893,200	2.87

注)出資比率は、自己株式1,636株を除く

「JPX日経中小型株指数」構成銘柄に選定



株式会社東京証券取引所及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出する「JPX 日経中小型株指数」の構成銘柄として、当社株式が選定され、平成 29 年8月31日より、本指数に組入れをされております。

本指数は、200銘柄で構成され、適格基準によるスクリーニングを経て、定量的なスコアリング(3年平均のROE、3年累積営業利益)と定性的な要素(独立社外取締役2名以上、決算情報英文資料の開示等)の加点のうえ決定されます。

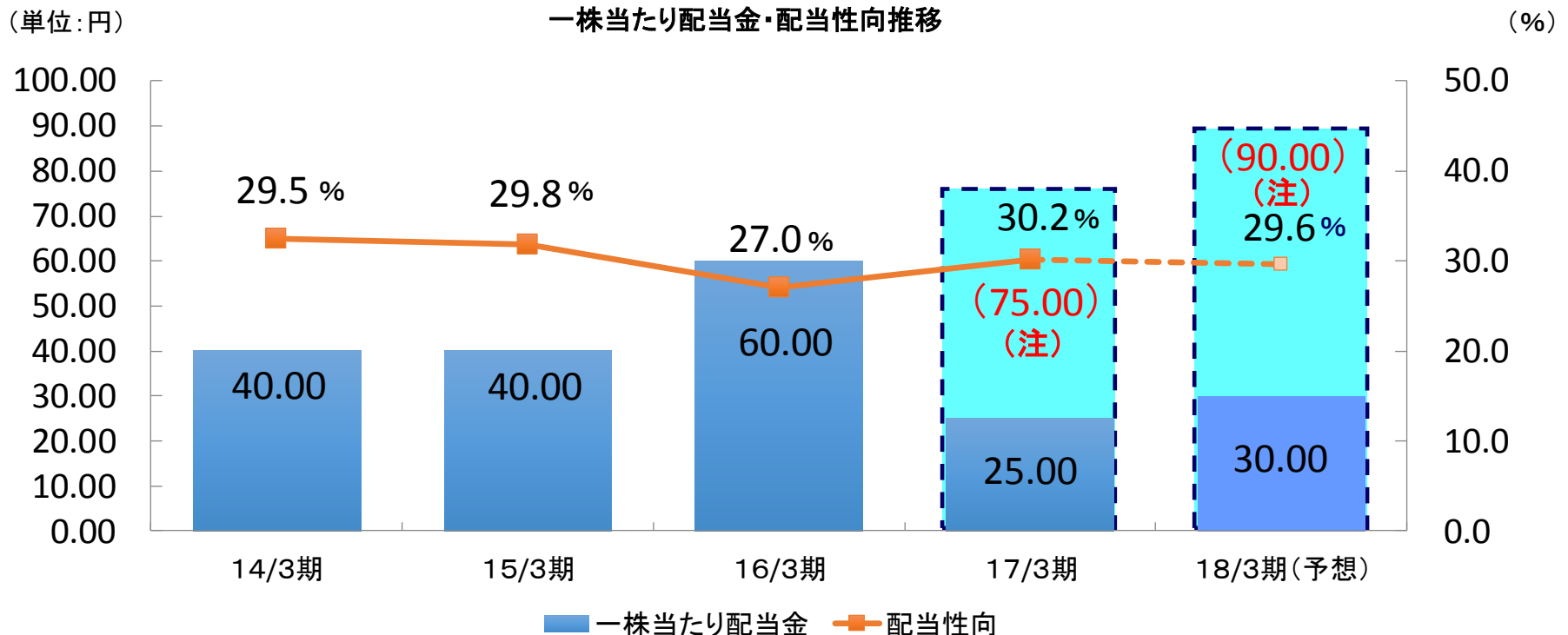
今回の選定を踏まえ、当社は、経営理念である「喜びを創り喜びを提供する」を追及し、一層の企業価値の向上に努めてまいります。

株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2018年3月期1株当たり配当金予想 30円 (注)



(注) 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。17/3期及び18/3期(予想)の一株当たり配当金は分割後の発行済株式数より算出しており、分割前に遡及修正して換算すると17/3期は75円、18/3期(予想)は90円となります。

株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

ご所有株式数	内容
100株以上500株未満	2,000円相当のグループ製品
500株以上1,000株未満	4,000円相当のグループ製品
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券(代替商品送付可)

【2017年度の株主優待商品】

100株以上500株未満ご所有の株主様
2,000円相当の当社グループ商品



500株以上ご所有の株主様
4,000円相当の当社グループ商品



【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様





《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体9名・連結1,375名
グループ会社	連結子会社17社(国内16社・海外1社)
連結売上高	325億円(2017年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月（平成10年）創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月（平成17年）営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月（平成18年）寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月（平成23年）東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月（平成24年）株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月（平成24年）台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月（平成25年）東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月（平成26年）東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月（平成26年）東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月（平成28年）株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月（平成29年）株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。



小樽洋菓子舗ルタオ



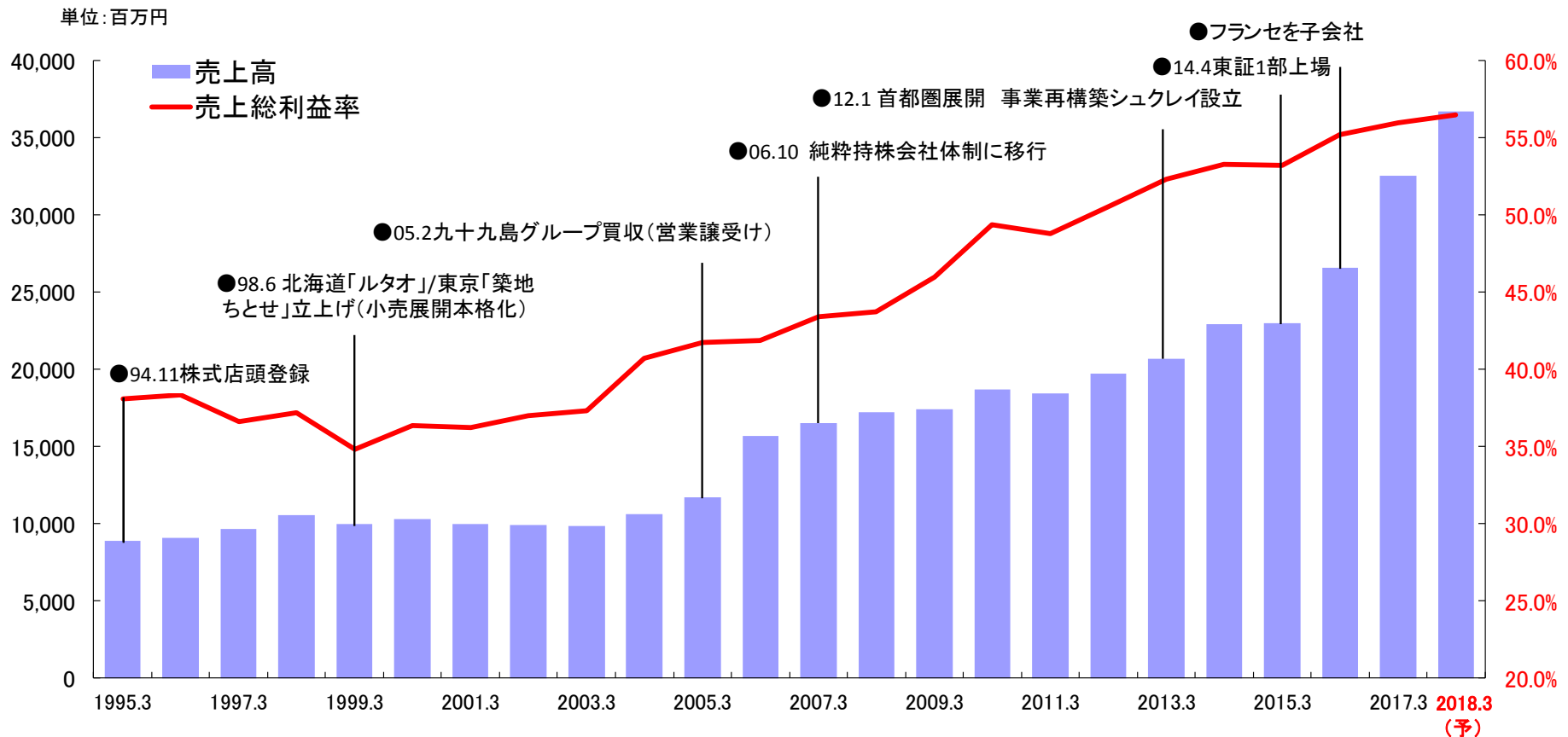
“ドゥーブルフロマージュ”



“九十九島せんぺい”

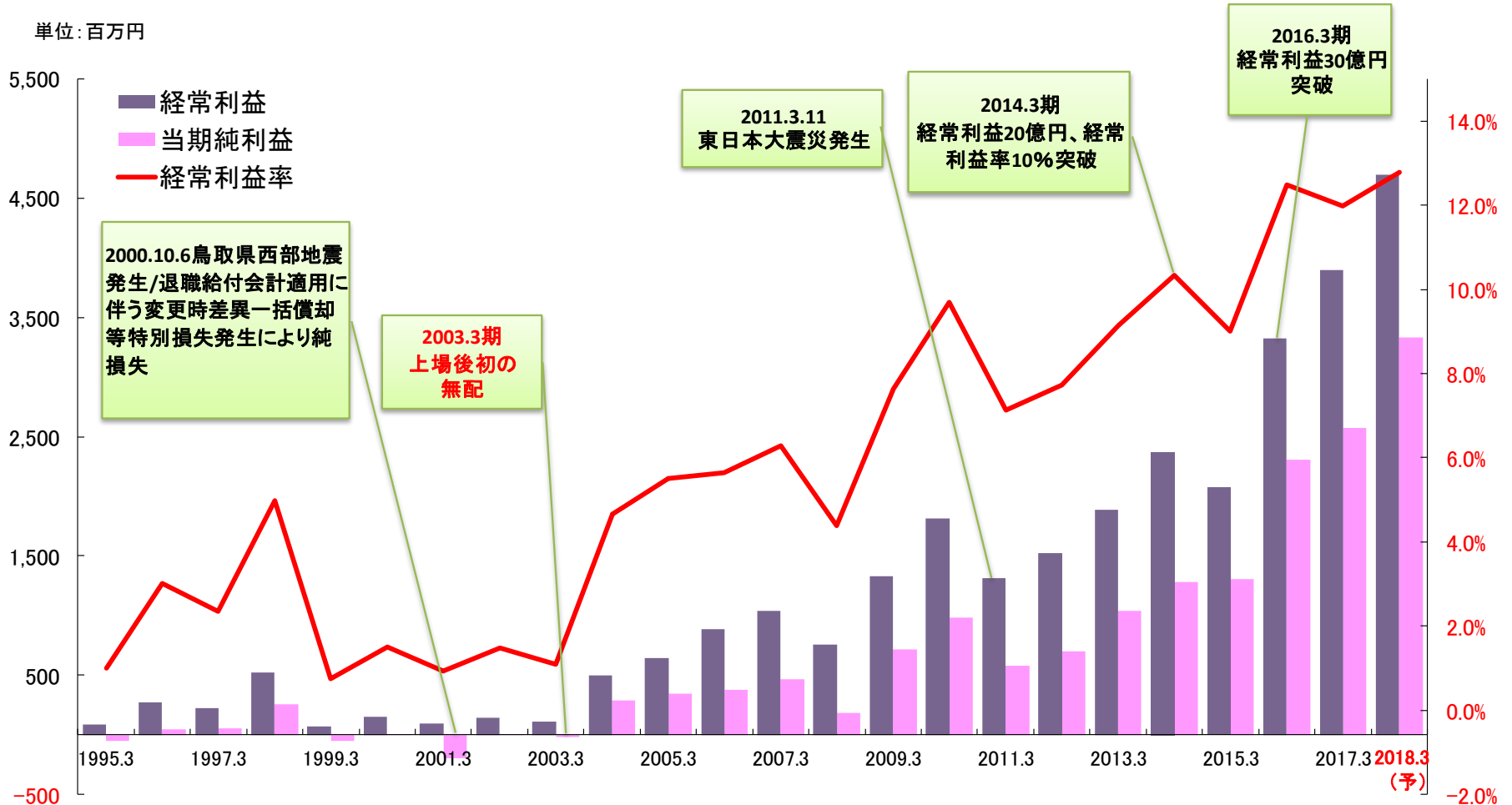
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
 組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

2014.3期 売上高経常利益率10%突破、高い収益性を実現



主要ショップブランド



お菓子の**壽城**
(山陰)

遊月亭
(兵庫)



(北海道)

Ivorish

Premium French Toast

(福岡・東京)



KONDITIONEIREI KOBE

(神戸)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(佐世保・福岡)



FRANÇAIS

(横浜)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nipponi Sweets Master

「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



お菓子の **壽城** 「とち餅」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「九十九島せんべい」



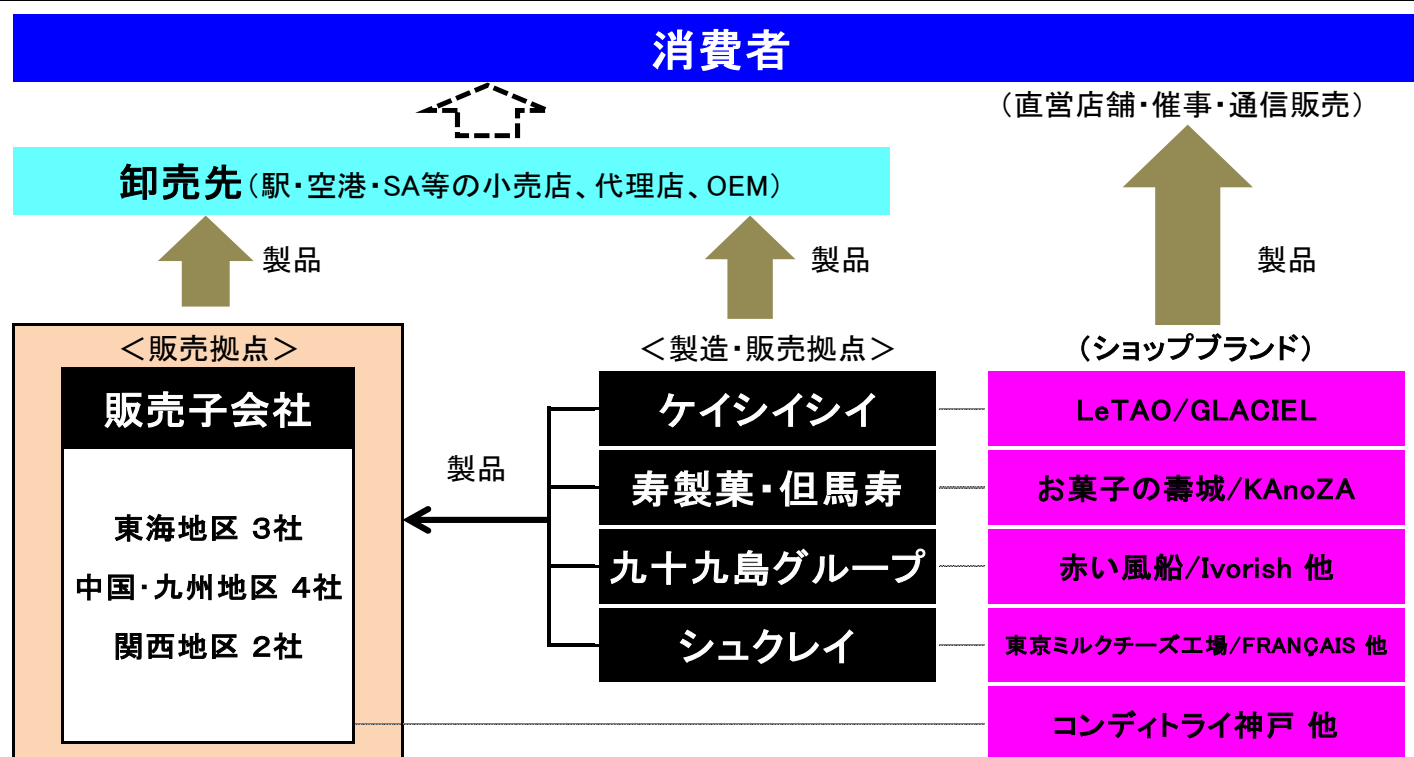
KONBITORE KOBÉ ●「神戸クリームチーズケーキ」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社17社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。

《ケイシイシイ》



● RISING SUN ROCK FESTIVAL in EZOにLeTAO初出店!!

日本を代表するオールナイト野外ロックフェスRISING SUN ROCK FESTIVALに参画。約20年に渡り、北海道から新たな文化を発信し続けてきたRISING SUN ROCK FESTIVALとLeTAO。素敵な音楽と心ほどける美味しいスイーツで多くの方に楽しんでいただきました。



(C)1999-2017 WESS INC.RISING SUN ROCK FESTIVAL. All Rights Reserved.

《寿製菓・但馬寿》

●米子がいな祭万灯大パレード

第44回米子がいな祭の万灯大パレードに参画。

女子の部審査会において、チーム発足6年となる寿製菓の女性万灯チームが見事初優勝しました。



《九十九島グループ》

●九十九島の日

毎年9月19日は九十九島の日。「西海国立公園“九十九島”」の豊かな自然と美しい景観をそのまま後世に残し、多くの方々に素晴らしさを伝えるため、佐世保市で制定されました。九十九島の日に先駆け、長崎県内各所で感謝の文字入りの九十九島せんぺいを配布を行い多くの方々と共に九十九島の日を盛り上げました。





《シュクレイ》

- 東京ミルクチーズ工場 テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭りSUMMER STATION 初出店!!
東京ミルクチーズ工場が、テレビ朝日・六本木ヒルズ全域を舞台とした大型イベント夏祭り SUMMER STATIONに初出店。
コラボレーション企画から誕生したソルト&レモンクッキー入りのcowcowサンデーが大好評。



東京ミルクチーズ工場



《株主懇談会での取組み》

- 2017年6月27日(火)に定時株主総会終了後に開催された株主様との懇談会
LeTAO外山シェフ特製のスイーツが株主様との大切な時間を彩りました。



QRコードから動画をご覧ください

《経営理念動画》



●弊社経営理念を紹介する動画を作成いたしました

創業者河越庄市が社員と共に数々の困難を乗り越え、築き上げた経営理念。

寿スピリッツグループの全ての活動は経営理念「喜びを創り 喜びを提供する」に基づいています。

